

平成 27 年 9 月 17 日 07 時 54 分頃にチリ中部沖で発生した地震について

地震の概要及び津波警報等の発表状況

発生日時： 9 月 17 日 07 時 54 分頃（日本時間）
マグニチュード： 8.3
場所： チリ中部沖（南緯 31.5 度、西経 72.0 度）
（震源は太平洋津波警報センター（PTWC）による）
発震機構等： 東西方向に圧力軸を持つ逆断層型
津波警報等： 日本への津波の影響については現在調査中

○ 海外の津波の観測状況（17 日 09 時 54 分現在）

< 国・地域名 >	< 検潮所名 >	< 津波の高さ >
チリ	バルパライソ	1 . 6 m
チリ	チャニャラル	0 . 7 m
チリ	フアンフェルナンデス諸島	1 . 0 m
チリ	コキンボ	3 . 1 m
チリ	ブカレム	0 . 5 m
チリ	カルデラ	0 . 5 m
チリ	サンアントニオ	0 . 9 m

○ 防災上の留意事項

太平洋の広域に津波発生可能性があります。

日本への津波の影響は現在調査中です。今後発表される情報に注意してください。

○ 今回の地震の震央付近で過去に発生した地震による津波

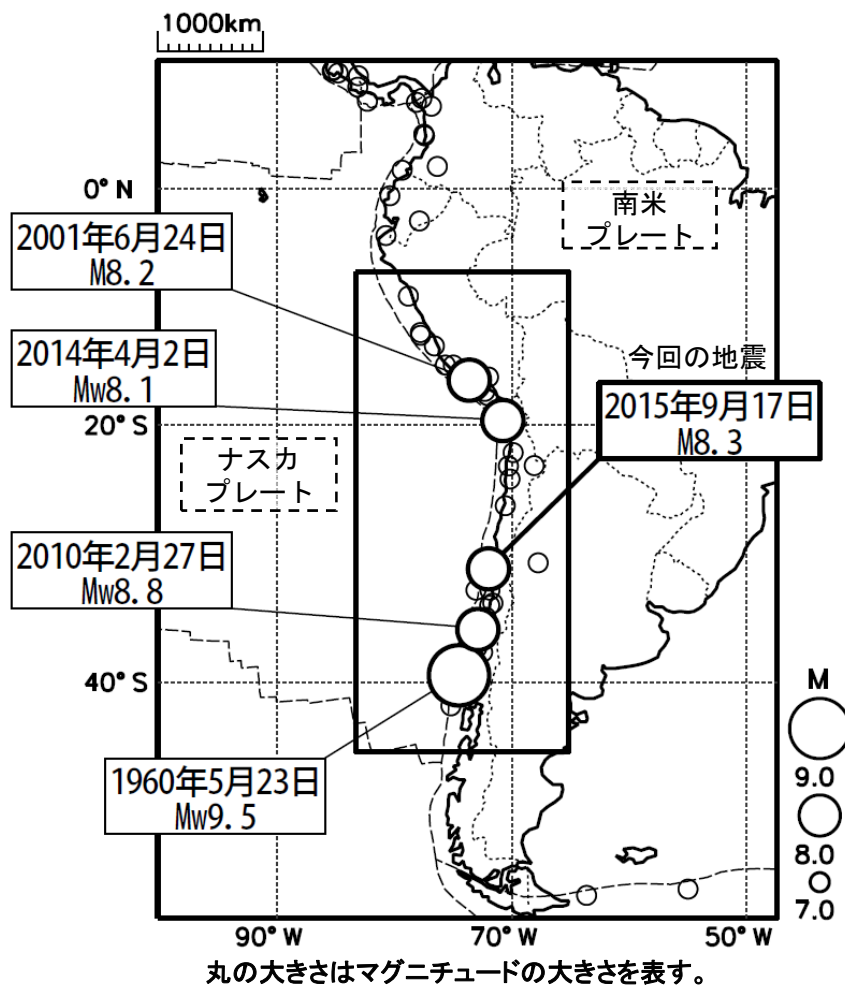
1960 年 5 月 23 日	Mw9.5	太平洋沿岸で 1m ~ 4m 程度
1985 年 3 月 4 日	Mw7.9	18cm（八丈島）
1995 年 7 月 30 日	Mw8.0	29cm（八戸）
2001 年 6 月 24 日	Mw8.2	28cm（根室市花咲）
2007 年 8 月 16 日	Mw8.0	15cm（根室市花咲、八戸、宮古、石垣島石垣港）
2010 年 2 月 27 日	Mw8.8	1.2m（久慈港、須崎港）
2014 年 4 月 2 日	Mw8.1	55cm（久慈港）

本件に関する問い合わせ先：盛岡地方気象台 019-622-7868

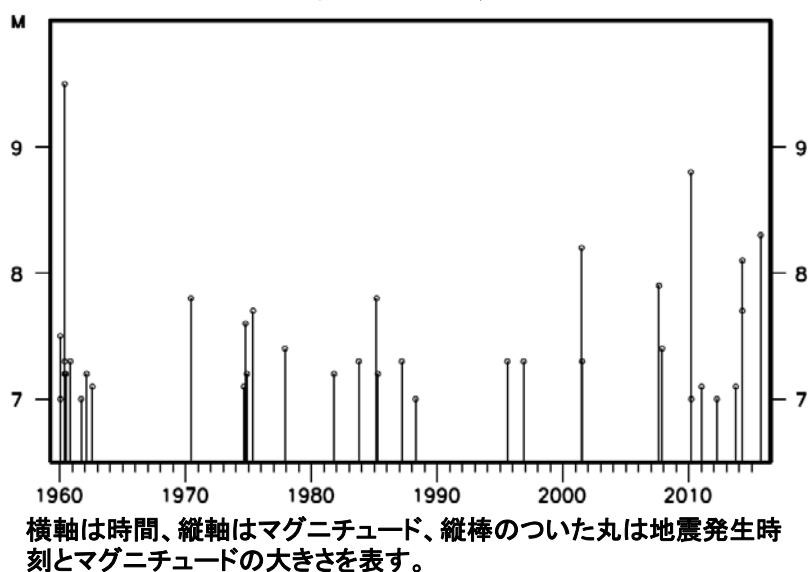
平成27年 9月17日 チリ中部沖の地震 (発生場所の詳細)

震央分布図

(1960年1月1日～2015年9月17日8時00分、深さ0～200km、M7.0以上)



上図の四角形領域内の地震活動経過図



震源要素は米国地質調査所(USGS)による。ただし、2010年2月27日の地震、2014年4月2日の地震のMwは気象庁による。今回の地震の震源要素は太平洋津波警報センター(PTWC)による。

気象庁作成

東西方向に圧力軸を持つ逆断層型

[CMT 解(速報)]

Mw=8.3

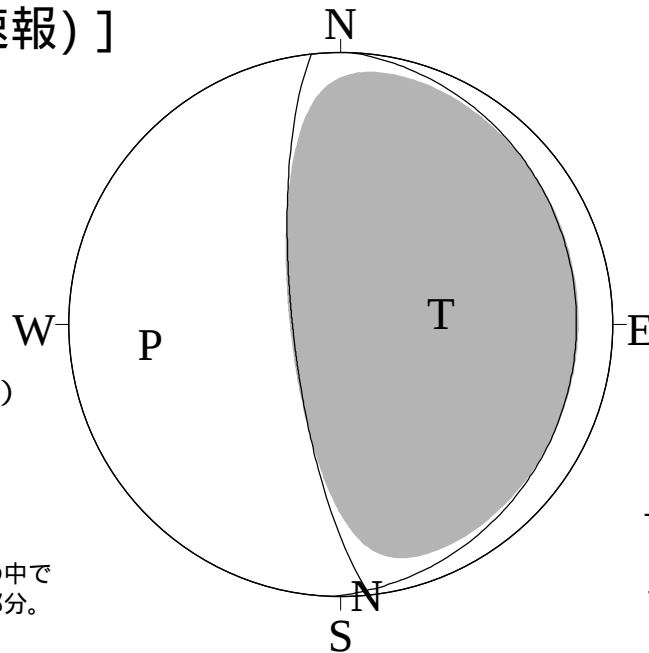
震源(セントロイド)

南緯 31度39分

西経 71度45分

深さ 約30km

セントロイドとは、
地震を起こした断層面の中で
地震動を最も放出した部分。



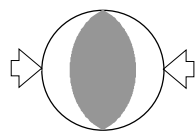
下半球等積投影法で描画

P : 圧力軸の方向

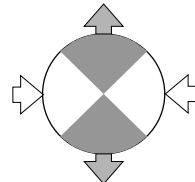
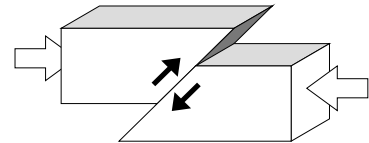
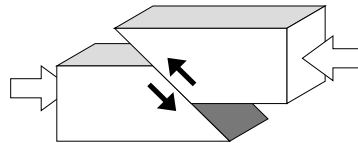
T : 張力軸の方向

発震機構解 [CMT解] について

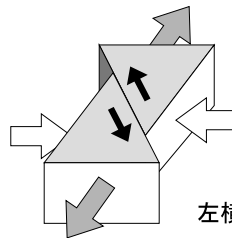
圧力軸に注目した場合の例



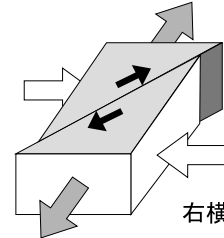
逆断層型



横ずれ断層型

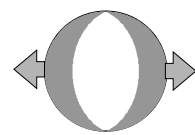


左横ずれ

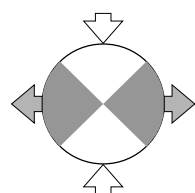
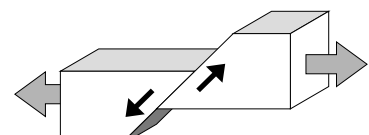
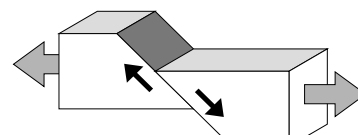


右横ずれ

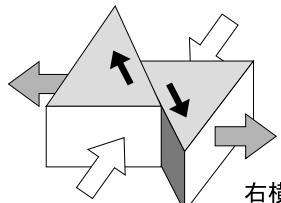
張力軸に注目した場合の例



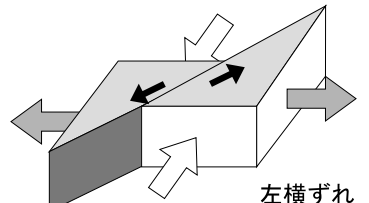
正断層型



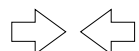
横ずれ断層型



右横ずれ



左横ずれ



圧力(押す力)

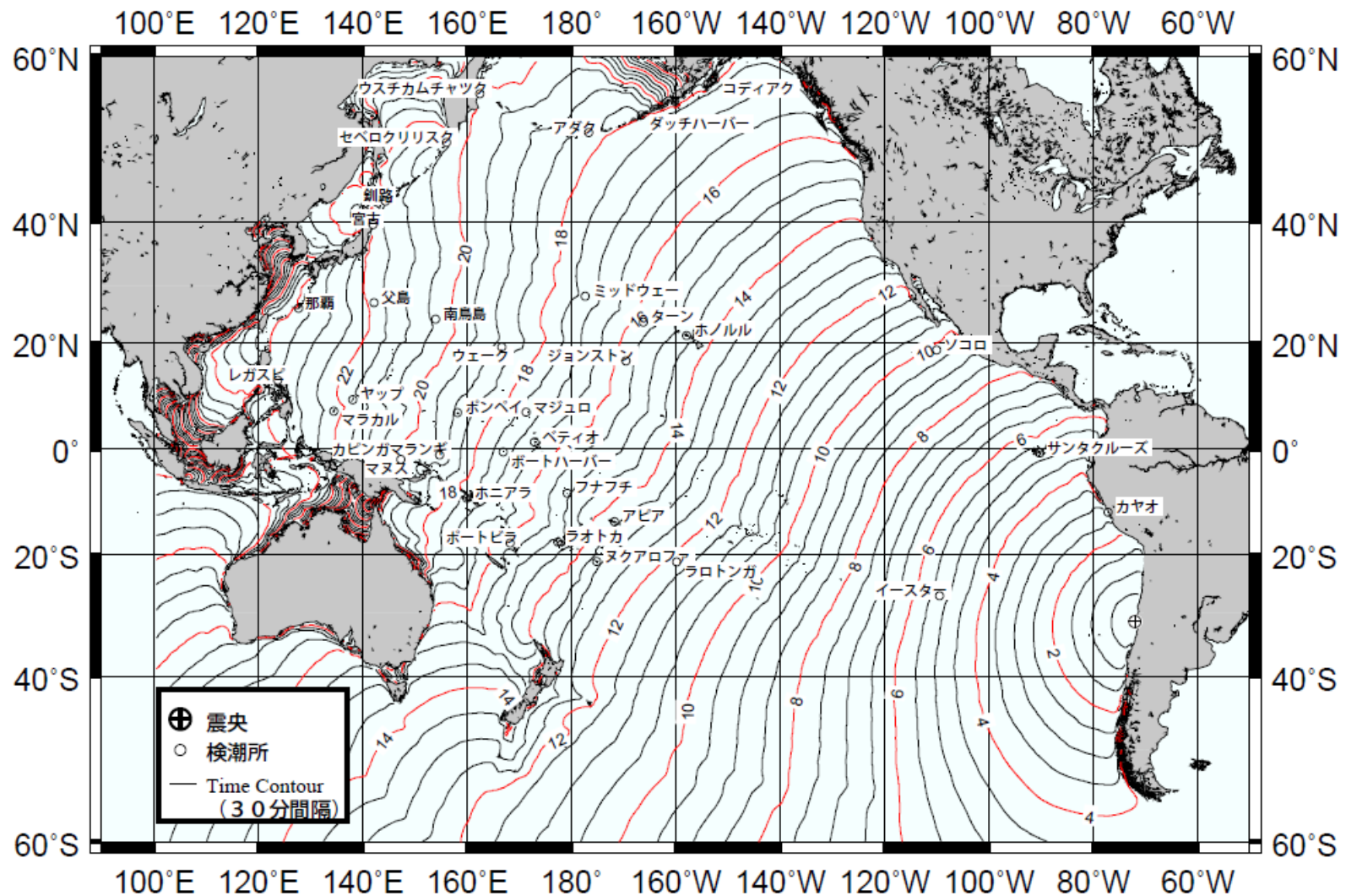


張力(引く力)



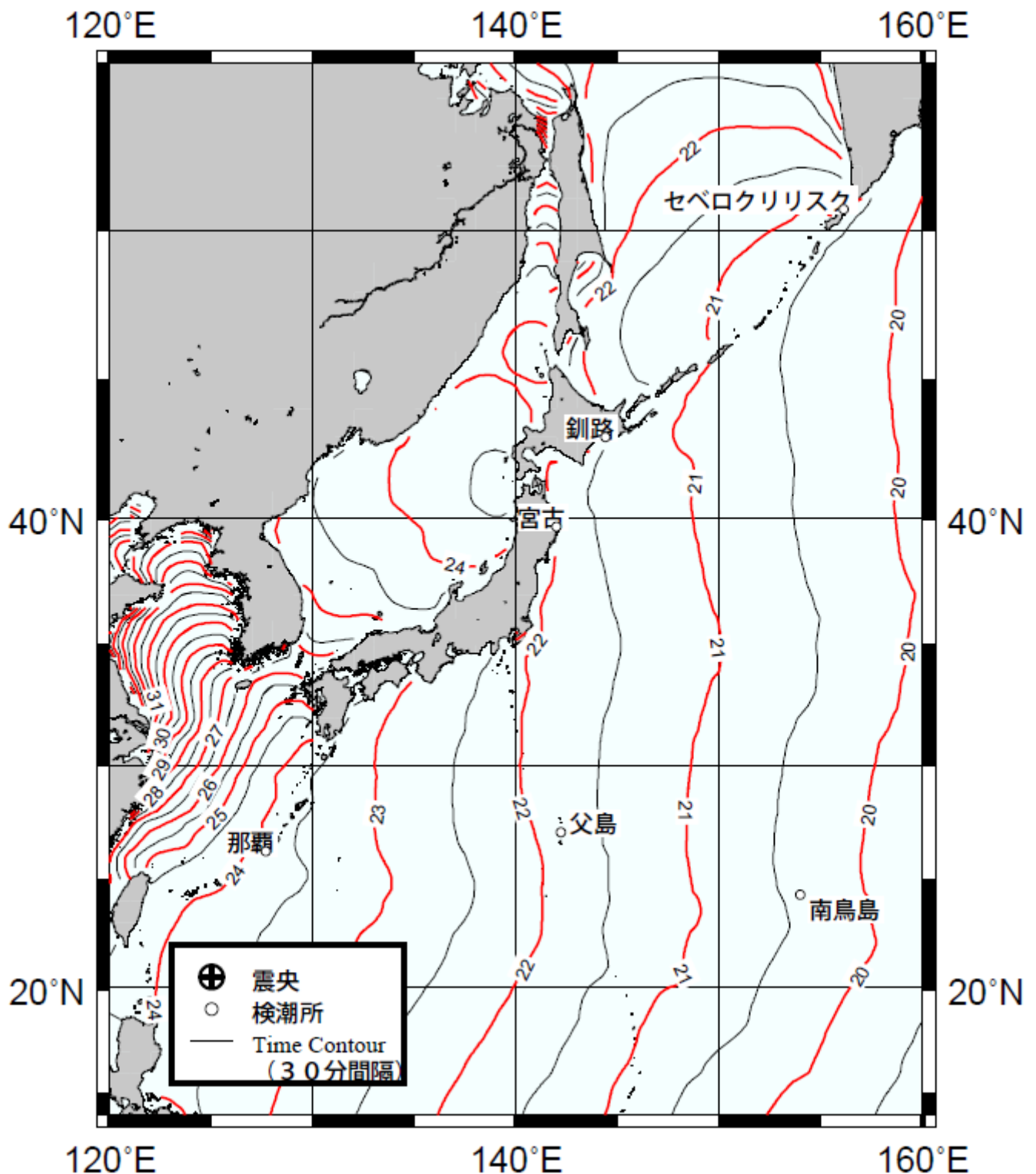
断層がずれる方向

津波の到達予想図（伝播図[太平洋]）



数字は地震発生時刻からの経過時間

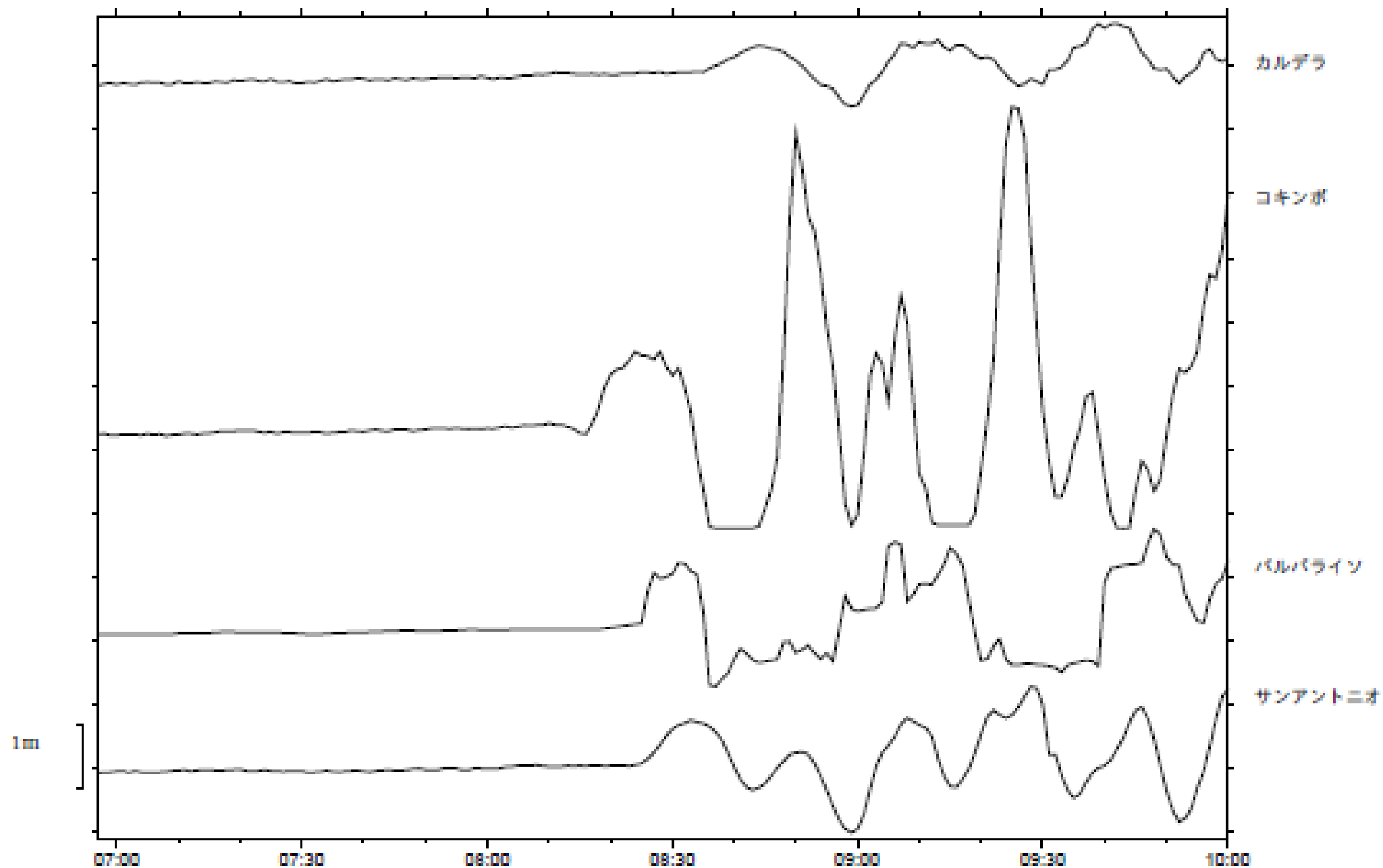
津波の到達予想図（伝播図[日本周辺]）



数字は地震発生時刻からの経過時間

気象庁資料

海外津波波形(2015年9月17日10時00分現在)



気象庁が津波監視に用いる国外観測地点（太平洋）

